

## 自分自身をバージョンアップ ～1学期始業式～

【4月8日（月） 平成31年度 1学期始業式 学校長式辞から抜粋】

「進化論」で有名なダーウィンは、生物の進化の歴史を見ると、最も強いものが生き残るのではなく、環境の変化にうまく対応できるものが生き残るという言葉を残しています。

変化に対応できるとは、自分の置かれた環境に合わせて自分が変わり続けるということだと思います。例えば、みんなが持っているスマホやコンピュータでも、常にバージョンアップを続けないとその機種は使えなくなり、いつの間にか廃版になって無くなってしまいますね。iPhoneがiPhoneであり続けるためには、本体のモデルチェンジやOSのバージョンアップを繰り返さないといけないわけです。つまり変わり続けられないといけないわけです。

では、それを私たち人間に当てはめると、どんな時に自分をバージョンアップすることができるのでしょうか？生き物の進化の例のように、環境が変わることにより、ちょっと大変だとか、しんどいなと思うような状況になったときこそ、自分をバージョンアップさせるチャンスなのかもしれません。

「ピンチはチャンス」という言葉がありますが、ピンチがチャンスに変わるまで粘り強くしんぼうできるかどうかにかかっていると思います。それは必ずしも強くなるということではなく、少し考え方や気持ちの持ち方を変えることで、環境の変化に柔軟に対応してうまくピンチを乗り越えることができる、そしてピンチがチャンスに変わるということではないでしょうか。

4月は、自分自身をもう一回り大きくバージョンアップさせる絶好の機会です。自分をバージョンアップしようがんばる生徒が多ければ、学校自体もバージョンアップします。みなさん一人一人のバージョンアップが、三木高校のバージョンアップです。

私も、三木高校に校長として着任しモデルチェンジをしました。みなさんと一緒にバージョンアップしていきたいと思います。三木高校の先生方はみなさんのバージョンアップを全力で応援します。

新学年のスタートにあたり、楽しい、そして有意義な高校生活となるように、一人一人が自分のバージョンアップに取り組みましょう。

（校長 高橋信之）